

# 2012-2013年度 IM第5組報告

大阪ユニバーサルシティRC 会長 **高野 幸雄**  
IM実行委員長 **池山 博文**

テーマ:「防災を考える」～迫りくる南海トラフ大地震に備える～

日時:2013年2月16日(土)12:30～18:30

場所:ANAクラウンプラザホテル大阪

参加者:高島凱夫G、横山守雄PG、大谷透PG、岡部泰鑑PG、福家宏GE、泉博朗GN、秋山千尋IM第5組G補佐、平田達男IM第6組G補佐、小林和由IM第8組G補佐、大阪中央RC、大阪堂島RC、大阪北RC、大阪北梅田RC、大阪西RC、大阪大淀RC、大阪リバーサイドRC、大阪西北RC、大阪そねざきRC、大阪梅田RC、大阪梅田東RC

ホストクラブ:大阪ユニバーサルシティRC

出席者:155

一昨年3.11の東日本大震災では、津波に加えて原発が被災するという想像を超える大きな被害を受けました。18年前の阪神淡路大震災を経験した我々にも想像できない被害でした。同じような海洋型地震である南海トラフによる巨大地震がいつ来てもおかしくないと言われており、その被害は東海地方から関西まで、まさに日本の中心が広域に同時に被災するという、これまでにまったく経験のない被害を受ける可能性があります。

基調講演では関西大学教授で同大学「社会安全研究センター」長、阪神淡路大震災記念「人と防災未来センター」長でもあり、政府の中央防災会議座長もされ今や防災の第一人者の河田恵昭先生に「大阪発レジリエント社会を目指す」と題してご講演いただき、迫り来る「国難」に対して我々がいかに備えるべきか貴重な示唆をいただきました。



パネルディスカッションでは、引き続き河田先生にコーディネートいただき、以下の3名のパネリストの方々にも参加いただいて「ロータリアンとしてBCP(事業継続計画)を考える」～大阪を強くしなやかな社会にするために何が必要か～という観点から議論いただきました。

大阪府副知事 小河保之氏

(株)サクラクレパス代表取締役社長 西村貞一氏  
協和テクノロジズ(株) 代表取締役会長兼CEO  
十河元生氏

小河副知事からは「グランドデザイン・大阪」を紹介いただき、西村社長からは大阪の魅力と課題について、十河会長からはICTからみたリスク対策全般について、それぞれ発表いただき、続いてBCPに関する考え方や課題について議論いただきました。そして必ず来る南海トラフ巨大地震に備えて、大阪をレジリエント(強くしなやかな社会)にするためには、参加者各自がBCPを考え、しっかり準備していくことが重要であるということを再確認しました。

また交流会では、河田教授とともに小河副知事も最後までご参加いただき、他の参加者となごやかに歓談、情報交換でき、実りのある一日とすることができました。